

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和5年11月

1 たんかん産地同士，屋久島との交流を深める！

11月6日から7日にかけて，奄美大島・喜界島のたんかん生産者・関係者全15名で屋久島を訪問しました。島内4か所の樹園地や選果場での取組状況を視察した他，室内でのテーマ別の意見交換会や懇親会を通じて研鑽と相互の交流を深めることができました。園振協屋久島支部の丁寧な対応のもと，栽培技術や販売，園地の流動化や後継者育成など話題は尽きず，リアル交流の重要性を実感できました。アフターコロナを迎えた今後も，園振協大島支部が軸となり，同様の機会を設けていきたいです。



たんかん園地での視察状況



選果場での視察状況



意見交換会のようす



交流会のようす

2 指導農業士会，野菜部門新規就農者等巡回を実施

11月14日，大島地区指導農業士会野菜部門新規就農者等巡回が実施されました。指導農業士3名，関係機関10名の参加のもと，新規就農者等3名（奄美市2名，龍郷町1名）の抑制かぼちゃほ場，奄美市農業研究センター研修生2名の抑制かぼちゃ，実えんどうのほ場をそれぞれ巡回しました。併せて，抑制かぼちゃ大規模栽培ほ場等も巡回しました。指導農業士3名から，それぞれのほ場において栽培の状況分析と今後の肥培管理等の助言・指導がなされたことで今後の栽培の励みになりました。

3 青年農業者，課題解決に向けた取り組みを発表

11月13日，アマホームPLAZAで大島地区農業青年クラブ連絡協議会主催の青年農業者会議が青年農業者，指導農業士，関係機関等約40名出席のもと開催されました。会議では3名の青年農業者が①子牛の飼料給与マニュアルの定着，②バナラビーンズの生産体制の確立，③黒糖作りの取り組みについてそれぞれ発表を行いました。地区指導農業士会会長の講評では，経営拡大への意欲や課題解決への前向きな姿勢が評価されました。大島支庁農政普及課では，引き続き課題解決に向けた支援を行っていきます。



発表のようす



質疑応答のようす

4 農家の働き方について研修会を開催

11月13日，アマホームPLAZAで認定農業者や認定新規就農者など地域農業の担い手を対象に「奄美農業担い手セミナー」を大島地区農業改良普及事業協議会と大島支庁農政普及課の主催で開催しました。講師に社会保険労務士を招いて，農業における労働環境の特徴と必要な対策等について学び，農業の担い手を確保していくために必要な取組を農家及び関係機関で共有する機会となりました。誰もが働きやすい環境づくりを推進し，後継者の確保などに繋がるよう活動を展開したいです。